

三重県グローバル学生大使活動報告書

鈴木里沙

令和2年6月1日

【報告書内容】

スイス留学中(2019.9-2020.3)に三重県の文化を紹介するイベント(三重県桑名市の無形文化財である桑名の千羽鶴のワークショップと三重県の日本酒の紹介)を開催しました。

1. 桑名の千羽鶴体験講座

【実施概要】

- ❖ 開催日程 2020年2月22日
- ❖ 開催時間 10:00-12:00
- ❖ 開催場所 ケアザッツ教会のレンタルスペース・スイス ベルン州)
- ❖ 実施内容 折り鶴と桑名の千羽鶴2種類の体験 (拾餌と妹背山)
桑名の千羽鶴15種類の展示
- ❖ 参加人数 21名
- ❖ 国籍内訳(人数) スイス(17)・中国(1)・韓国(1)・日本(2)

【所感】

桑名の千羽鶴とは、200年前に僧侶によって考案された、一枚の紙から数羽の連続した鶴を折る連鶴です。

今回の講座では、小学生から高齢の方まで幅広い世代の方に参加していただき、基本的な折り鶴と桑名の千羽鶴2種類を体験していただきました。また、97羽の鶴がつながった『百鶴』をはじめとした15種類の桑名の千羽鶴を展示しました。

参加者の方からは、『とても楽しかった。ぜひ他の連鶴も作ってみたい。』『桑名の千羽鶴の繊細さや美しさ、アイデアに非常に感動した!』『今回はじめて三重県のことを知ったが、三重県の文化に興味をわき、日本を訪れた際にはぜひ行ってみたいと思った。』などの感想をいただきました。

折り鶴をはじめとした日本の伝統文化は繊細で美しく外国の方にも大変人気であるという印象を受けました。また、中には日本を何度も訪れており、訪日時にはAirbnb(民泊や体験講座の検索サイト)等を通して様々な体験講座を申し込んでいるが、三重県に行った際には他の伝統工芸も学んでみたい、とおっしゃってくださった方もいらっしゃいました。

世界が落ち着いた後、三重県を訪れる外国人の方にもぜひ様々な三重県の伝統工芸を体験してもらえたら嬉しいなと思いました。





2. 三重県の日本酒の紹介

【実施概要】

- ❖ 開催日程 2020年2月29日
- ❖ 開催時間 17:00-20:00
- ❖ 開催場所 スイス友人宅
- ❖ 実施内容 三重県の日本酒4種類の試飲と感想の聞き取り
- ❖ 参加人数 10名
- ❖ 国籍内訳(人数) スイス(3), メキシコ(1), ドイツ(1), カナダ(1), アメリカ(1), 中国(1), 日本(2)

【所感】

三重県の日本酒、純米大吟醸 半蔵 神の穂、作 雅乃智、作 インプレッションN、作 濃縮の4種類を試飲してもらいました。日本人のシェフや大学の教授などを含む10名に試飲してもらったところ、全員一致で1番人気は『作 インプレッションN』で、飲みやすさと芳醇な香りで評判が非常に良かったです。

参加者の多くは、初めて日本酒を飲む人が大半で、その理由はこれまで試す機会がなかったとのことでした。飲んだことがあるという人も留学などで来ていた日本人が持ってきた際に飲んだことがあるそうで、なかなか日本酒に巡り合う機会が少ないとのことでした。

日本酒をウォッカやジンのような強いリキュールだと思っていた人が多く、どのように飲むのか、食後に飲むのかという質問が多く聞かれました。お寿司と一緒に日本酒を楽しんでもらい、参加者の皆さんは、1つ1つ異なる味わいがあり、ワインのようで飲みやすいと感動されていました。

今回の企画を通して、スイスでは、日本や日本食に興味がある人でない限り日本酒を飲むまだまだ機会は少ないのだと実感しました。日本酒を飲むのは日本人を通して飲むことが多いようだったので、留学に行く日本人が日本酒を紹介するなどして、今後一層知名度があがることを期待したいです。





3. 謝辞

今回の留学中には、三重グローバル学生大使であるということで、在スイス日本大使館の広報文化センター（JICC）の方にも桑名の千羽鶴のイベントの宣伝等にご協力いただくことができました。また、留学に際してトビタテ！留学 JAPAN「日本代表プログラム」の奨学金を頂戴し、日本発信プロジェクトとして上記イベントを実施させていただきました。留学前には、ご厚意により酒造見学の機会を頂戴し日本酒製造の工程や製造者の方の心意気や工夫を学ばせていただくことができました。このような貴重な機会をいただいた、トビタテ！留学 JAPAN、清水清三郎商店の清水慎一郎社長、三重県会議員の稲垣昭義様、三重県営業本部担当課の太田泰史様、三重県雇用経済部国際戦略課の皆様、また、イベントの実施に際して、ご協力・ご参加いただいた皆様に心より感謝申し上げます。